

ラクラクダイ

★折りたたみステージ足場の決定版！

アルミ製で軽量、扱いやすく、連結ブリッジ併用で作業台のレンタルコストを軽減します。

※お客様にて運送を手配される場合、リン木が必要な場合があります。

※一部の部材はスチール製です。



ラクラクダイL

ラクラクダイM

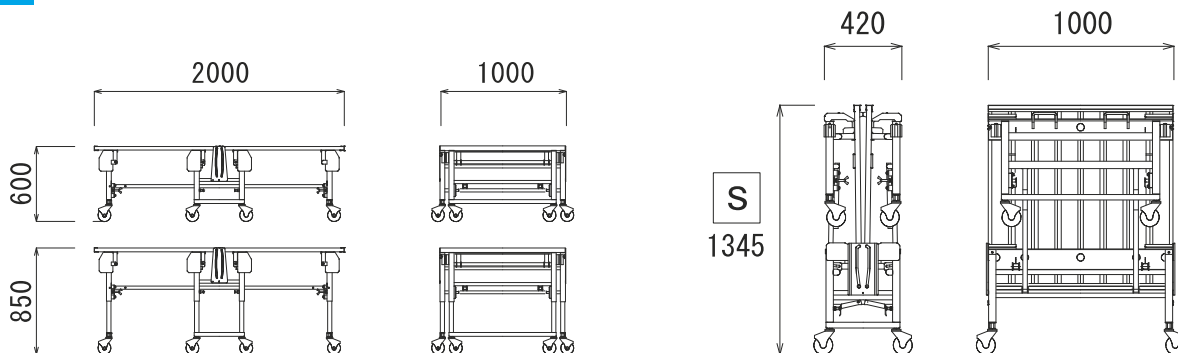
ラクラクダイS

品名・型式	天板垂直高さ (mm)@100	天板寸法 (mm)	最大使用荷重 (kgf)	自重 (kg)	トラック積載 10t ユニック	トラック積載 4t ユニック	トラック積載 4t パワーゲート
ラクラクダイ S	600~850 ※Sタイプは@125	1000×2000	150	70	40台	20台	30台
ラクラクダイ M	850~1250			65			
ラクラクダイ L	1350~1950			75			

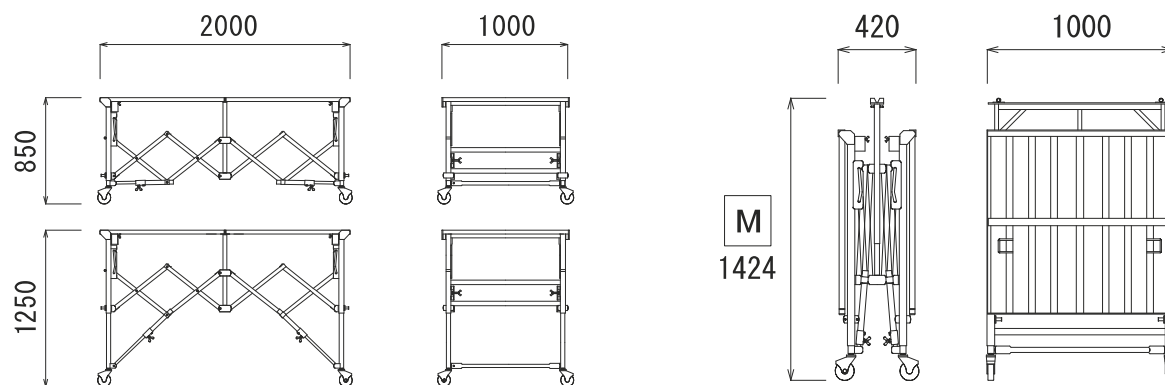
※積載数量は目安です。トラックの荷台の大きさにより積載台数は変動致します。

■ 寸法図

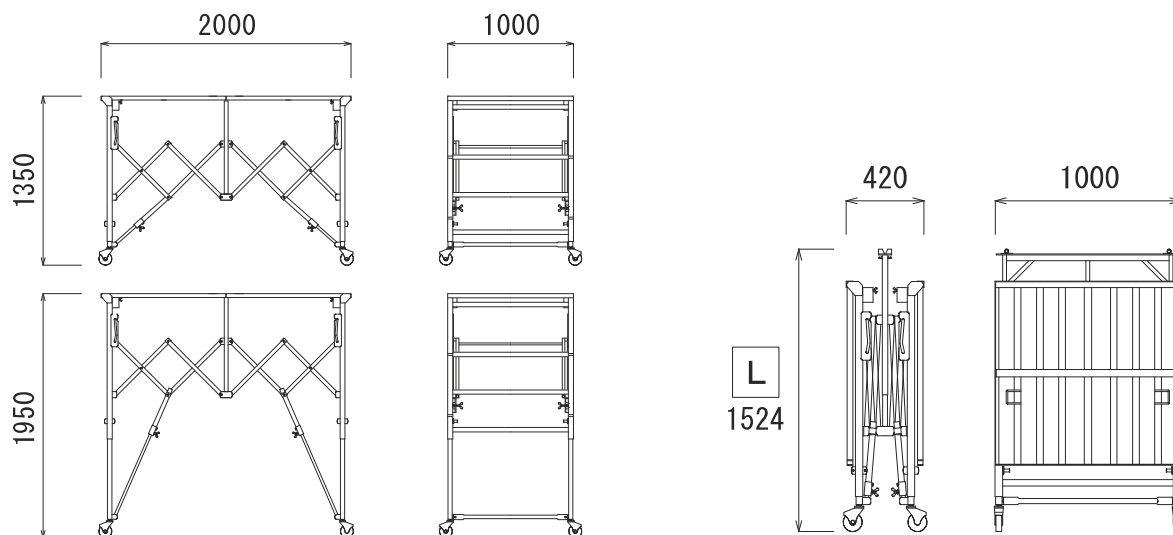
S 【床高さ】 600~850 (125mmピッチ)



M 【床高さ】 850~1250 (100mmピッチ)

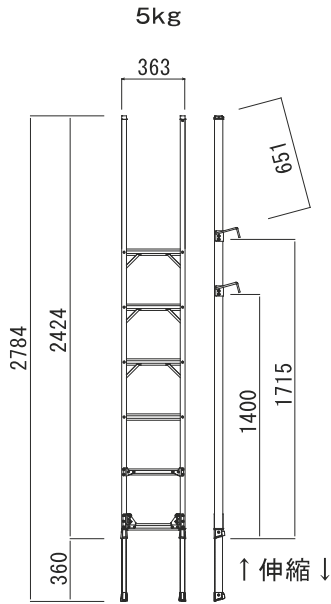


L 【床高さ】 1350~1950 (100mmピッチ)

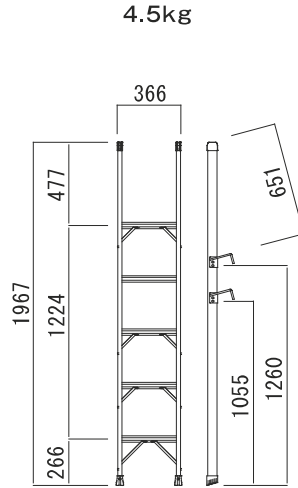


■ オプション

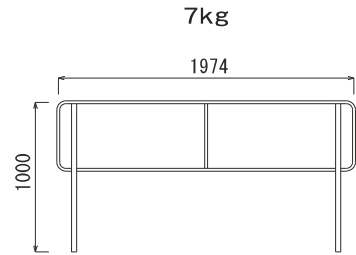
梯子L



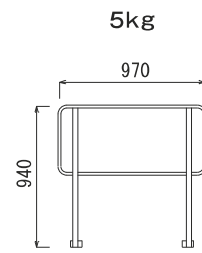
梯子M



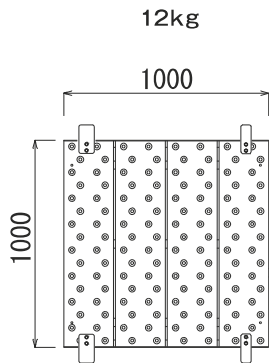
手摺大



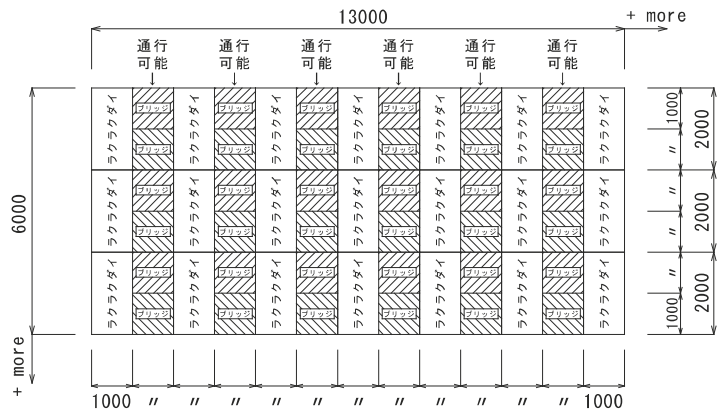
手摺小



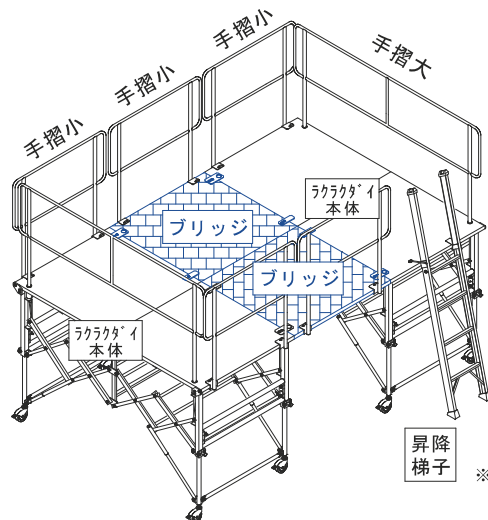
連結ブリッジ



■ 連結ブリッジ使用例



■ 使用例



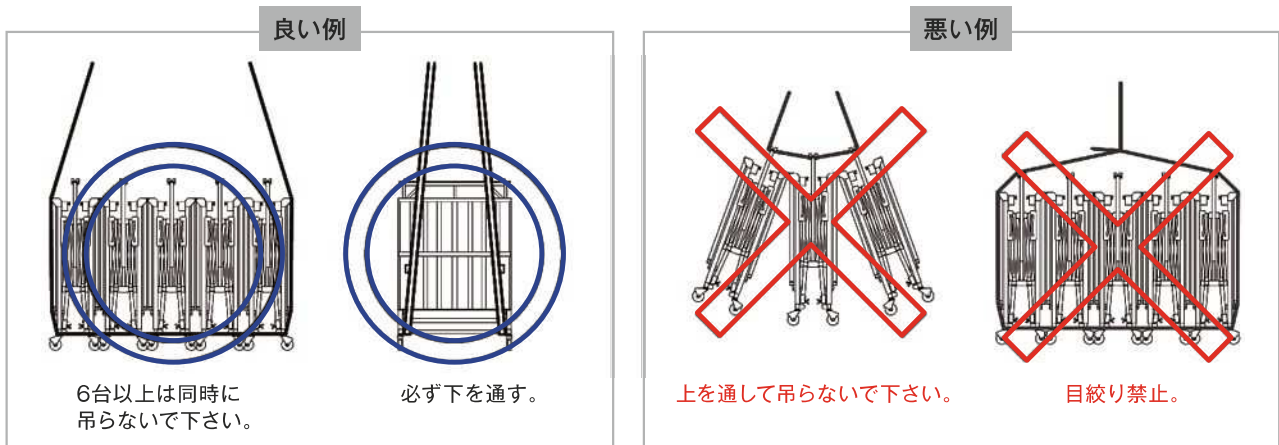
※手摺及びブリッジは全てのラクラクダイに取付可能です

※L・M型のみ

■ブリッジ設置



■ラクラクダイの吊り方 *ワイヤー吊りは禁止です。ナイロンスリングを使用して下さい。



ご使用上の注意点 (M/L/ブリッジ) 共通

- ご使用前には本体に付属している取扱説明書を読み、使用方法をご理解いただき、安全なご使用をお願い致します。
- 最大使用荷重(150kgf)以内でご使用下さい。水平な場所以外では使用しないで下さい。
- 各種固定用トグルピン、蝶ネジ、締め付けハンドル、ストッパー等は適正に緩め/締め付けを行って下さい。
- 折り畳んで移動する際は、必ず結束バンドにて本体を固定し、移動中にラクラクダイが開かないようにして下さい。

ご使用上の注意点 (M)

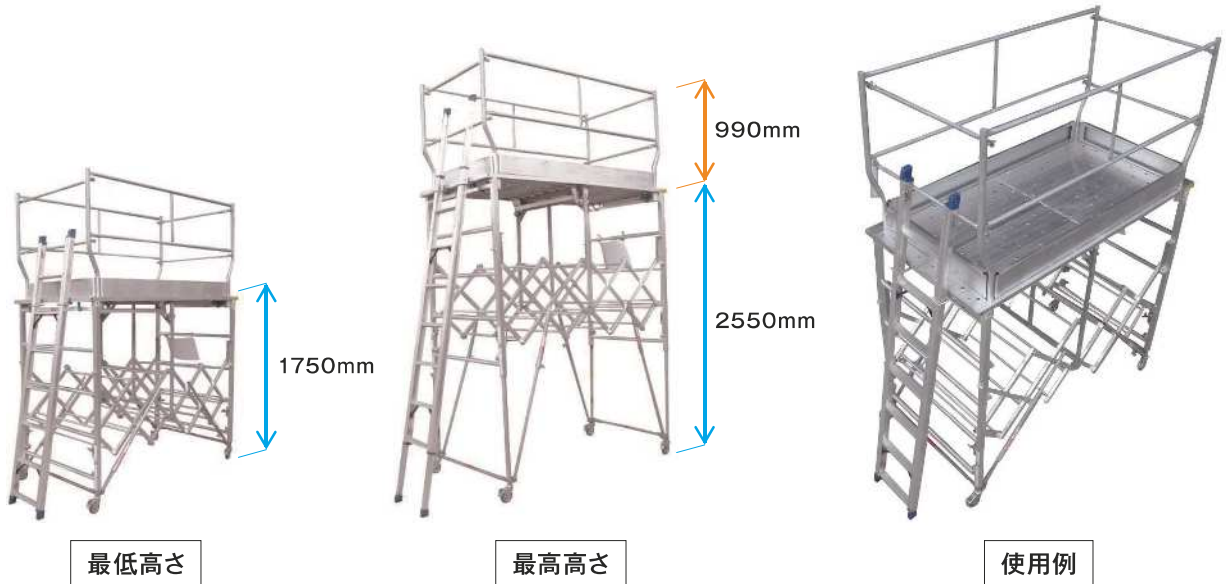
- ラクラクダイM型を折り畳む際は、伸縮脚を最も伸ばした状態(作業床高さ1250/伸縮脚に赤色が見えてる状態)で折り畳み、収納して下さい。これより低い高さで折り畳みますと、天板と地面が接触し、天板が破損する恐れがあります。

ご使用上の注意点 (ブリッジ)

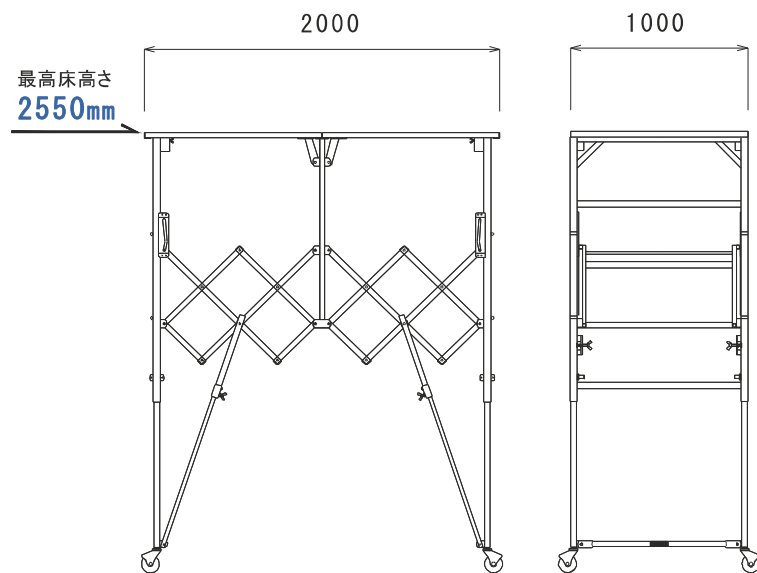
- 必ず本体の長辺(2mの辺)に2枚取り付けてご使用下さい。1枚単位でのご使用、短辺(1mの辺)に取り付けは禁止です。
- ブリッジ浮き上がり防止の為、本体蝶ネジを締め付けて固定して下さい。

ラクラクダイLL

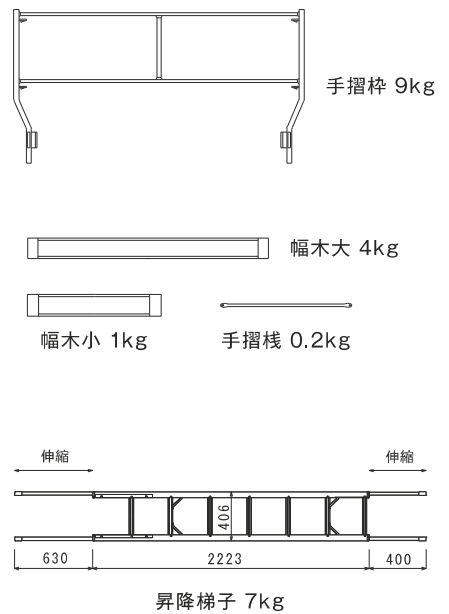
★ラクラクダイ最高シリーズ 床高さ2550mmのラクラクダイLLです。



■ 寸法図



■ 部材

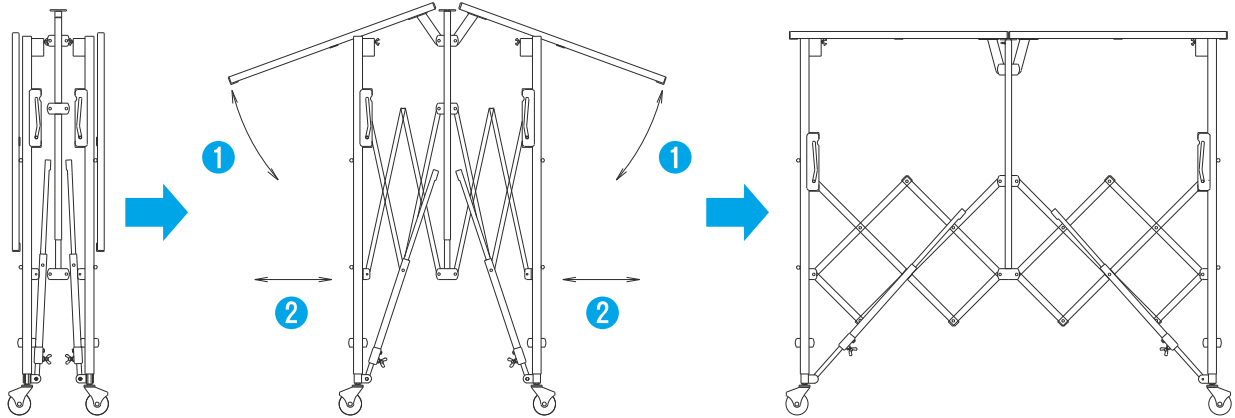


※ 使う時は必ず手摺棒、幅木、手摺棧、昇降梯子を使用してください。

品名・型式	天板垂直高さ (mm)@100	天板寸法 (mm)	最大使用荷重 (kgf)	自重 (kg) (本体)	トラック積載 10tユニック	トラック積載 4tユニック	トラック積載 4tパワーゲート
ラクラクダイ LL	1750~2550	1000×2000	150	95	25台	10台	20台

※積載数量は目安です。トラックの荷台の大きさにより積載台数は変動致します。

■ 組み立て方法(二人作業) (収納は逆手順)



たたんだ状態から

- ① 両側の天板を持ち上げて
- ② 支柱パネルを持ち蛇腹部を引きのばす

完成

- ※ 組み立て、収納、部材の取り付け/外しは作業床が一番低い状態で行ってください。
- ※ 作業床高さ調整は、2名で片側ずつ行って下さい。

■ 梯子取付手順



フック収納状態から

フックを外向にセットする

梯子を垂直に立ててフック側へスライドする

梯子をおおよそ75度に傾けて完了

■ ご使用上の注意点

- ご使用前には本体に付属している取扱説明書を読み、使用方法をご理解いただき安全なご使用をお願いします。
- 最大使用荷重(150kgf)以内でご使用下さい。水平な場所以外では使用しないで下さい。
- 各種固定用NKロック、蝶ネジ、締付ハンドル、ストッパー等は適正に緩め/締付けを行って下さい。
- 組み立て、収納、部材の取付/外しは作業床が一番低い状態で行って下さい。
- 折畳んで移動する際は作業床が一番低い状態にして本体を結束バンドで固定し倒れないように注意して行って下さい。
- 各可動部で手や足を挟まないように注意して下さい。
- 手摺や手摺棧から身を乗り出しての作業はしないで下さい。
- 使用前に各ロック装置・ストッパー・ピン・締付ボルト等が正常に作動している事を確認して下さい。
- 手摺、手摺棧に安全带等の命綱を取り付けしないで下さい。
- 作業床高さを高い状態から低くする際一時『未ロック状態』となり、作業床及び手摺の自重が掛かります。必ず2名での操作をお願いします。

取扱い説明動画
youtube公開中



■ 収納寸法

